

# 公益財団法人東京都道路整備保全公社「週休2日制確保試行工事」実施要領

## 1 目的

将来に渡り社会資本を安定的に整備・維持管理していくためには、建設業界の若手技術者を確保・育成していくことが重要であり、建設現場において、土日を休日とする「完全週休2日制」の実現に向けた段階的な施策展開を図っていくことが求められている。

本要領は、「完全週休2日制」の実現を目指して試行する、週休2日制確保試行工事（以下「試行工事」という。）の実施の流れ、提出資料等を定めたものである。

## 2 試行対象工事

すべての土木工事（土木設備工事を除く）を対象とする。ただし、以下のいずれかに該当する工事は対象外とできる。

- (1) 対象期間（本要領3(2)参照）が1か月（約30日）未満の工事
- (2) 単価契約工事や緊急対応工事等の工期があらかじめ決められている工事
- (3) 社会的要請等により早期の工事完成が望まれる工事

例① 災害復旧工事

例② 供用時期が公表されている工事

- (4) 施工時間や施工方法の制約が予想される工事

例① 通学時間帯の中断等、地域社会からの要望が予想される工事

例② 希少動植物の繁殖の確認によって対策が予想される工事

なお、受注者は試行工事を希望しない場合、現場施工に着手する（現場事務所の設置、資器材の搬入または仮設工事等が開始される）日（以下「現場着手日」という。）までに、希望しない旨を理由を付して発注者に報告する（別添1参照）。

## 3 週休2日の考え方

週休2日は、土曜日・日曜日を休日とする4週8休以上の休日を確保するものであり、その実施に努めなければならない。ただし、受注者の責によらず、土曜日・日曜日に現場作業等を余儀なくされる場合は、受発注者間の協議により、土曜日・日曜日以外の曜日に休日を任意に設定し、現場閉所を行うことで週休2日に取り組むこととする。

- (1) 現場閉所における週休2日とは対象期間において、4週8休以上の現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (2) 対象期間とは、現場着手日から工事完了日までの期間をいう。

なお、年末年始休暇6日間、夏季休暇5日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者が対象外と認める期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされている期間等）は含まない。

- (3) 現場閉所とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場所を除

き、現場事業所での事務作業を含めて 1 日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

- (4) 4 週 8 休以上とは、対象期間内の現場閉所日数の割合（以下「現場閉所率」という。）が 28.5%（8 日/28 日）以上の水準に達した状態をいう。
- 1) 月単位の週休 2 日とは、対象期間内の全ての月において、現場閉所率が、28.5%以上となる現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では、28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に閉所を行っている場合に、4 週 8 休(28.5%)以上を達成しているものとみなす。
- 2) 通期の週休 2 日とは、対象期間において、現場閉所率が、28.5%以上となる現場閉所を行ったと認められる状態をいう。
- (5) 降雨、降雪等による予定外の現場閉所日についても、現場閉所日数に含めるものとする。

#### 4 業務の流れ

##### (1) 試行工事発注時

発注者は、本要領 2 により試行工事を選定した上で、当初設計時に月単位の週休 2 日の達成を前提として経費（労務費、機械賃料、共通仮設費率、現場管理費率）の補正を行い、起工書、案件公表時の記載及び特記仕様書に当該工事が試行工事である旨を記載する（別添 2 参照）。

なお、補正係数は、東京都建設局積算基準の記載による。

##### (2) 試行工事契約時

発注者は、試行工事の実施について、受注者の意向を確認する。受注者が試行工事を希望した場合は、その旨を施工計画書に明記する。

受注者より、試行工事を希望しない旨の報告を受けた工事については、受注者は以降の「4 業務の流れ」に記載の義務を負わない。

なお、速やかに経費の補正について、設計変更を行う。

##### (3) 試行工事施工時

1) 受注者は、別添 3 を参考とし、広報板に「週休 2 日制確保試行工事」である旨を記載する。

2) 受注者は、現場閉所を行う時や休日等に工事施工を行う時は、事前に週間工程表やメール等で監督員に報告する。

3) 発注者は、受注者の負担とならないよう既存資料や任意様式等により週休 2 日の取組状況を適宜確認する。受注者側の週休 2 日の取組状況が十分でない場合は、受発注者双方において要因を分析し、改善に取り組むものとする。

##### (4) 最終変更時

受注者は、工事完了日確定後速やかに、別添 4 を参考とし、現場閉所の結果が確認でき

る「現場閉所報告書」を作成し、発注者へ報告する（報告様式は東京都建設局「統一 26 様式」）。

発注者は、現場閉所の達成状況を確認後、月単位の週休 2 日に満たないものは、補正係数を通期の週休 2 日に変更する。その際、4 週 8 休未満であった場合は補正係数を除した変更とする。

## 5 留意事項

- (1) 発注者は、緊急時等やむを得ない場合を除き、現場閉所日の前日等、現場閉所中の作業が発生するような指示等を行わない。
- (2) 発注者における現場閉所状況の確認については、各試行工事単位で行うものとする。
- (3) 受注者が週休 2 日に取り組む場合、月単位の週休 2 日又は通期の週休 2 日に係わらず、建設業の働き方改革を推進する観点から、受注者は毎週土曜日・日曜日の現場閉所が達成できるよう努めるものとする。

### 附 則

この要領は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

### 附 則

この要領は、令和 2 年 6 月 1 日から施行し、令和 2 年 4 月 1 日以降に起工し公告等を行う案件に適用する。

### 附 則

この要領は、令和 3 年 9 月 1 日から施行し、令和 3 年 6 月 1 日以降に起工し公告等を行う案件に適用する。

### 附 則

この要領は、令和 6 年 10 月 1 日から施行し、令和 6 年 10 月 1 日以降に起工し公告等を行う案件に適用する。

週休2日制確保試行工事辞退報告作成例

統一26

工事等主管課		担当工事事務所等	
課長	係長	所長等	担当者

文書番号  
(工事番号)

〔協報 議告〕書

年 月 日

理事長 ○○○○ 殿  
(発注者あて)

住所 東京都新宿区西新宿○丁目○番○号  
○○建設株式会社

受注者  
氏名 代表取締役社長 ○○○○ 印

現場代理人氏名 ○○○○○○ 印

下記工事について特記仕様書 につき〔協報 議告〕します。

文書番号 (契約番号)	○○東道○○第○○号
工事件名	○○○○○工事
工事場所	東京都○○区○○○地内

〔協報 議告〕 内容

本工事においては、(…理由…)のため、「週休2日制確保試行工事」を実施いたしません。(公益財団法人東京都道路整備保全公社「週休2日制確保試行工事」実施要領2により報告します。)

監理業務受託者	事務所名	担当者名	印
---------	------	------	---

## 記載例

### (1) 起工書への記載

起工書の「その他」に「週休 2 日制確保試行工事」であることを記載。

### (2) 案件公表時の記載

発注予定表において、「発注予定備考」欄等に以下のように記載する。

本工事は、「週休 2 日制確保試行工事」である。試行にあたっては『公益財団法人東京都道路整備保全公社「週休 2 日制確保試行工事」実施要領』に基づき行う。

### (3) 特記仕様書記載例

特記仕様書に以下のように記載する。

#### 「週休 2 日制確保試行工事」

- (1) 本工事は、「週休 2 日制確保試行工事」の対象案件である。
- (2) 試行にあたっては、『公益財団法人東京都道路整備保全公社「週休 2 日制確保試行工事」実施要領』（以下「要領」という。）に基づき行う。要領は、公益財団法人東京都道路整備保全公社ホームページから入手できる。  
([https://www.tmpc.or.jp/07\\_keiyaku/system.html](https://www.tmpc.or.jp/07_keiyaku/system.html))
- (3) 受注者は、週休 2 日制試行工事を希望しない場合、現場着手前に、希望しない旨を理由を付して発注者に報告する。(要領 2 参照)
- (4) 本工事は、現場閉所の月単位の週休 2 日の達成を前提として経費を補正している。

## 広報板記載例

<p>〇〇〇〇 工事のお知らせ</p> <p><b>週休 2 日制確保試行工事<sup>*1</sup></b></p>	
<p>この工事は、〇〇通り（都道第〇〇号線）の〇〇〇〇工事で、〇〇年〇月頃下図のように完成する予定です。</p> <p>皆様には、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご協力をお願いいたします。</p>	
<p>絵 ・ 図</p>	<p>工事件名 〇〇〇〇工事（その 1）</p> <p>工事区間 〇〇区〇〇町一丁目から 〇〇区〇〇町二丁目</p> <p>工事概要 延 長 〇〇m 車道幅員 〇〇m</p>
	<p>お気づきの点は、下記へご連絡ください</p> <p>発注者：(公財)東京都道路整備保全公社 電話(100)1234</p> <p>受注者：〇〇建設株式会社 〇〇作業所 電話(200)5678</p> <p style="text-align: right;"> (二次元コード)</p>
<p><b>事業 P R 記載</b></p>	
<p>(記載例)</p> <p>無電柱化事業の目的は、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 都市防災機能の強化を図ります。</li><li>② 安全で快適な歩行空間を確保します。</li><li>③ 良好な都市景観の創出を図ります。</li></ol>	
<p>「夢のみち」優秀作品などを記載</p>	<p>(公財)東京都道路整備保全公社</p>
<p><b>本工事は、建設現場の「週休 2 日制」確保に向けて試行する「週休 2 日制確保試行工事」です。<sup>*2</sup></b></p>	

(注)

- ・※1は、すべての広報板に記載。
- ・※2は、広報板 A 型、B 型に記載。(B´型、C 型でも可能な場合は記載。)
- ・フォント、文字の大きさ等は変更してよい。

例)【現場閉所報告書 令和〇〇年度 〇〇工事 (工期 令和〇〇年〇月〇日 ~ 令和〇〇年〇月〇日)

月単位における週休2日の判定

∴ 月単位における週休2日達成

通期における週休2日の判定

- ① 対象期間内日数 332 日
- ② 4週8休以上 95 日 = ① × 0.285 (8日/28日) (小数点以下切り上げ)
- ③ 現場閉所日数(通期) 107 日

② ≤ ③ ∴ 通期における週休2日達成

※必ず検算すること。  
 ※入力月が12か月を超える場合は、行追加やシート追加等を適切に行い、  
 本工事全体での①から③の合計日数を報告すること。

令和〇年4月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	実施要領3における 現場閉所/対象期間 26.7%	
	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火		
	期間種別	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工		
	計画	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作		
	実施	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作		
令和〇年5月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	実施要領3における 現場閉所/対象期間 32.3%
	曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	
	期間種別	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	
	計画	作	作	休	休	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	
	実施	作	作	休	休	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	
令和〇年6月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	実施要領3における 現場閉所/対象期間 33.3%	
	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
	期間種別	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工		
	計画	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	作	休	休	作		作
	実施	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	作	休	休	作		作
令和〇年7月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	実施要領3における 現場閉所/対象期間 29.4%
	曜日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	期間種別	工	工	工	工	製	製	製	製	製	製	製	製	製	製	製	製	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工		
	計画	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	休	作	作	作	作	
	実施	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	休	作	作	作	作	
令和〇年8月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	実施要領3における 現場閉所/対象期間 34.6%
	曜日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	期間種別	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	夏	夏	夏	夏	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	
	計画	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	休	休	休	休	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	作	作	休	
	実施	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	休	休	休	休	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	作	作	休	
令和〇年9月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	実施要領3における 現場閉所/対象期間 36.7%	
	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月		
	期間種別	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工		
	計画	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作		
	実施	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作		
令和〇年10月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	実施要領3における 現場閉所/対象期間 26.1%
	曜日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	
	期間種別	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	中	中	中	中	中	中	中	中	中	工	工	工	工	工	
	計画	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	
	実施	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	
令和〇年11月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	実施要領3における 現場閉所/対象期間 33.3%	
	曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
	期間種別	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工		
	計画	作	休	休	休	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	作	作	休		
	実施	作	休	休	休	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	作	作	休		
令和〇年12月	日付	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	実施要領3における 現場閉所/対象期間 28.6%
	曜日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
	期間種別	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	工	年	年	年	年	
	計画	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	休	休	休	
	実施	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	作	休	休	作	作	作	作	作	休	休	休	休	休	

※1.受注者の責によらず、土日に現場作業等を余儀なくされる場合は、受発注者間の協議により、土日以外の曜日に休日を任意に設定し、現場閉所を行うことで週休2日に取り組むこともできる。  
 ただし、任意に設定する休日は、土曜日を起算日とし、前週の土日以外の曜日とする。

※2.暦上の土曜日・日曜日の閉所では、28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所を行っている場合に4週8休(28.5%)以上を達成しているものとみなす。

※3.対象外期間を除いた暦上の土曜日・日曜日の合計日数以上に現場閉所を行っている場合に4週8休(28.5%)以上を達成しているものとみなす。